

幼保連携型認定こども園 中海こども園

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

項目	内容	評価			
		A	B	C	D
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○		
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか			○	
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○		
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○		
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○		
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○		
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○		
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○			
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○		
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか		○		
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○		
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか			○	
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○		
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○		
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○		
<p>・理念や基本方針は、利用者に周知されるように、今年度も玄関に掲示したり、園だより、地域向けの情報誌を作成したりして周知を図るよう努力してきた。しかし、保護者への周知・理解は、まだ必要と感じ、今後は、写真等を使い、子どもの生活や遊びを通して、理念や基本方針をわかりやすく伝え、さらに、周知されているかを保護者アンケートなどで確認していく。</p> <p>・終礼や園内研修では、職員間で子ども理解について意見交換を行い、共通理解をしながら一人一人の人格を尊重した教育・保育に心掛けている。</p> <p>・今年度は、新型コロナウイルスの影響で、地域との活動は制限されることが多かった。園内では、生活や行事の見直しを必然的に行うことになり、話し合いの機会を多く持ち、皆で意見を出し合って行事の見直しや工夫等を行った。子どもの主体性を大切に教育・保育を心掛けることで保育の質も向上してきている。今後はさらに深めていきたい。</p> <p>・今年度は、長期的な視野を持てるように、全体の計画や指導計画を冊子にまとめて作成し全職員が持ち、それに基づいて教育・保育を行ってきた。今後も見直しを行い、計画し、入園から卒園まで子どもの充実した生活を意識していきたい。</p> <p>・今年度は特にコロナ禍の為、フリーの看護師が各クラスを回り、一人一人の健康状態や家族の健康状態等を把握している。必要であれば、担任、栄養士、園長等と相談し連携して対応している。鼻水などの軽い症状の健康状態も、iPadや朝礼等を利用し共有している。</p> <p>・3,4,5歳児のランチホールでの食事は、コロナ禍で年齢別になり、食育活動もそれぞれの活動になってしまった。しかし、そんな中でも、出来ることをしようと、“から弁”(空の弁当箱を持参し、給食を弁当箱に自分で詰める)の活動やオリンピック・パラリンピック給食等を取り入れることで、食の楽しさが増えた。未満児においては、給食と担任が連携し、食材に触れる活動や食事の量、大きさ、固さなど一人一人に合わせる配慮ができた。</p> <p>・子どもの主体性を意識しながら教育保育を行ってきた。ドキュメンテーションや市の研究課題を積極的に行い、改善すべき点やよりよくなる環境の工夫などを検討した。今後も、子ども達が主体となり、自ら意欲的に活動ができるように環境構成等に、さらに取り組んでいきたい。</p>					

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育てていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>・全職員が子どもとの信頼関係の構築を大切にして、一人一人に暖かく関わっている。健やか対象の子どもには、支援計画を立て、丁寧に関わっている。他の機関との連携も行い、情報の共有もできている。</p> <p>・年度の初めに、小学校と連携し交流の計画をたてたが、新型コロナウイルスの為に思うように出来なかった。しかし、5年生とのじゃがいも掘りや学校見学など小学生と交流することができた。また、電話連絡等で情報の共有にも努めた。今後も、連絡を取り合い、情報交換を行っていく。</p>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか			○		<p>・今年度は、保護者の行事への参加の機会が持てなかった。家庭へは、連絡帳やクラスだよりに加え、「おうちえん」での動画を配信し、園での様子を見てもらったが、保護者アンケートでは、「直接、(運動会など)見たかった」と回答もあった。家庭への発信の方法は、今後の検討課題である。また、連絡帳の書き方の工夫や面談希望の方には個別面談ができることを知らせるなど配慮していく。</p> <p>・新型コロナウイルスの為、園開放は行えなかった。その為、マイ保育園登録者には、メールや電話で相談などが受けられるようにしたが、まだまだ浸透していない。次年度も継続し、コロナの感染状況に配慮しつつ、家庭で子育てしている親子への支援を行っていきたい。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか			○		
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか			○		
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・看護師の専門性を活かし、細やかな指導の下、保育者と連携しながら感染予防対策を行っている。また、アレルギー対応のマニュアルの変更があり、再度検討し、調理担当者との連携の元、対応をしている。</p> <p>・避難訓練においては、毎回、反省点を共有し検討すると共に、必要に応じて再度同じ訓練を行うことで定着させていった。訓練の中でも、様々な想定を考へ行うことができた。</p> <p>・防災対策の非常用備蓄は計画的に入れ替えを行っている。また、避難訓練の日には、非常食(カロリーメイト等)を食べる経験も行った。</p> <p>・今年度は、月に1度、外部講師による勉強会を取り入れた。主体的な活動や子ども理解に焦点を当てたドキュメンテーションを作成し、積極的に職員間で検討している。勉強会に参加できないパート職員には、ビデオによる研修を行い、職員全体で質の向上に努めた。また、リモートによる様々な研修も参加している。施設長の働きかけで、職員が自ら自己研鑽できるようにしている。</p> <p>・年度初めに事業計画書を配布し、施設長が会議の中で、事業計画に応じた教育保育内容を伝えている。保護者にも、事業計画書を配布し確認してもらった。しかし、途中入園児の保護者や途中採用者への周知ができていなかったため、次年度は必ず伝えるようにする。</p> <p>・苦情解決の仕組みは玄関に掲示しているが、今後も保護者への周知に努めていく。保護者からの苦情があった場合は、速やかに対応するよう努め、職員間で共有している。</p> <p>・職員一人一人が年に3回の自己評価と年1回のキャリアパスフレームによる自己評価を行っている。職員自身が振り返りと課題を見つけ、意識し意欲的に、日々の教育・保育に取り組めるよう努力している。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策が行われているか		○			
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか	○				
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10)個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			
施設関係者評価						
<p>・パート会でパート職員が意見を言える取り組みは、園内の風通しをよくしていると思います。</p> <p>・年長児の個別面談は、一人20～30分でよいので実施して下さい。</p> <p>・連絡帳の書き方の工夫で、子どもの様子がわかるような書き方については、職員がわかるような話し方で伝えられているか、という点でも把握できるので、日頃の職員同士の会話を意識してみてもはどうでしょうか。</p> <p>・途中入園児、途中採用職員に、配布できるよう資料はまとめて、一部ずつ封筒に入れるなどして、置いておくとよいと思います。</p> <p>・職員紹介の写真は、台紙、写真の大きさ、掲示の場所で工夫してください。</p> <p>・アンケートの結果報告は見やすいです。</p> <p>・コロナ禍の中、マスクの着用について、マスクは非推奨となっているという保護者の意見は、大事だと思い、日中はせずバスの中、園外保育でつけると子どもの事を考えて行っていると思います。</p> <p>・園内研修も参加しやすいように工夫されていました。昨年度の反省を生かして取り組んでいる姿が見られました。</p> <p>・園長、副園長3人のチームワークが全職員の向上になったようです。</p>						